

日本を守る、  
力になりたい。

【コロナ特集】

玉木雄一郎代表に日本政治への危機感と  
コロナ時代の経済政策について聞きました。

LINE公式アカウント  
友だち追加、お願いします!



国民民主党 代表 衆議院議員

たまき雄一郎

# 日本を守る、力になりたい。

～ 私たちは、未来を先取りし、政策を先導する。～



ようやくワクチン接種が進み始めました。しかし、日本が直面している課題はワクチンだけで解決できるものではありません。1990年代後半に世界2位だった一人当たりGDPは、今や香港やシンガポールにも負けて世界で26位。そして、1989年から4年連続1位だった国際競争力ランキングも世界で34位です。日本はどんどん貧しく、そして安い国になっています。

振り返れば、この30年の間の27年間、政権を担ってきたのは自民党です。異次元の金融緩和による経済政策「アベノミクス」で挑んだ安倍政権の期間でさえ、経済成長率の平均値は年0.9%。そして、菅政権の「骨太の方針」も総花的で戦略が見えません。これまでと同じような政策と予算を繰り返すだけでは、長期衰退の流れを変えることはできません。

他方、野党の批判の多くも、短期的な課題やスキャンダルの追求で、日本の長期衰退についての有効な反論や対案を示していません。特に、与野党とも短期的な財政均衡にこだわるあまり、今や世界の潮流となっている「大規模、長期、計画的」な財政政策に転換できていません。国産ワクチンを開発できなかった理由も、この「未来への過小投資」が原因です。防衛費の水準もあと5年で韓国に抜かれます。緊縮財政の転換が必要です。

私が、仲間と一緒に国民民主党を結党した意義はここに 있습니다。批判のための批判ではなく、より良い解決策と選択肢を示し、古く錆びついた政策を変えていく、コロナ禍を経験した今だからこそ、そんな新しい政治が必要だと確信しています。

実際、国民民主党は、これまで様々な政策を提案し実現につなげてきました。昨年、10万円の定額給付金を真っ先に提案し、実現につなげたのは国民民主党です。また、コロナ禍で、自殺、特に女性の自殺が増えています。2019年からいち早く孤独対策の必要性や孤独担当大臣の設置を提案し実現したのも国民民主党です。そのほかにも、政府備蓄米の子ども食堂への無償交付の量を4倍にすることも、国民民主党の提案で実現しました。

「政治とカネ」の問題や公文書の改ざん問題を指摘するまでもなく、長期政権の弊害は明らかです。私たち国民民主党は、未来を先取りし、「まだここにはない視点」から必要な政策を先導していきます。日本再生に残された時間はそう多くはありません。強い危機感を持って国政に臨みます。仲間が必要です。どうか皆さんの力を貸してください。

2021年7月吉日

国民民主党 代表 **玉木雄一郎**



**国民民主党 LINE公式アカウント開設**

党員・サポーター登録はこちらからオンラインでできます。電話でのお問い合わせは0879-43-0280まで

◀QRコードから読み取りをお願いします。